

石川さわ子の活動レポート

誰もが安心して暮らせるまちづくりを



▲新陽小学校周辺の道路を点検



▲新琴似8-14の歩道を中心に、視覚障がいのある方が信号を渡る時の危険性や点字ブロックの不備等について当事者とともに点検。(10月27日)

視覚障がいのある方が安全に移動できるよう、点字ブロックや音響式信号機は大切な道しるべです。「日常的に通る横断歩道にカッコーやピヨピヨという誘導音が必要」という声を受け、当事者とともに点検し改善項目を関係機関に求めました。また、新陽小学校の保護者とともに、子どもを守るため、学校と公園との間の道路への信号機や注意喚起標識等の設置を関係機関に要望しました。

もっと使いやすい 介護保険制度に

東京都世田谷区 11月10日



◀2021年の介護保険制度「改正」案では、要介護1、2の訪問介護の「生活援助」や通所介護を地域支援事業へ移行するなど改悪の内容が示され、情報収集のため福祉フォーラムに参加しました。講師は服部メディカル研究所所長の服部万里子さん(写真左)。

こなまち・札幌に暮らしたい

2020年度予算要望提出



▲介護予防・日常生活支援総合事業のサービスを行う人材の確保、産後ケア事業の拡充、子どもがのびのび遊べる公園等の確保など351項目を秋元市長に政策提案しました。(市長室/11月28日)

市民の声を
提案

化学物質過敏症の子どもが 通える教室を

香料等による健康被害で▶教室に入れない子どもの特別支援学級(病弱)が、厚別区共栄小に開設されており視察しました。今後も、子どもの健康と学ぶ権利を保障する取り組みを提案します。



第1回定例会市議会は予算特別委員会があり、私は第1部に所属します。(財政局、子ども未来局、市民文化局など)

皆様のご意見をお待ちしています。



札幌市議会を傍聴しよう!

■2020年第1回定例会市議会 2月18日(火)~3月30日(月)

問い合わせ:札幌市議会 市民ネットワーク北海道事務所
TEL 011-219-0112

●市民ネットワークは、議員を特権化せず、市民の声を直接議会に届ける「代理人」と位置づけています。市民が政治の主体として積極的に参画していく仕組みをつくらうと代理人運動を実践しています。

さわ子のホッと一息

私のプロフィールの「趣味・特技」として「漬け物作り」を挙げているのを御存じですか?今シーズンは久しぶりに玄米漬けと醤油漬けをつくりました!漬け物は「何漬けか」「作り方」など食べながら話が盛り上がりすね。お茶のお供に、もちろん食事の際にも重要な脇役を固めます。大根は、実家やあいの里の知り合いから分けてもらいました。地産地消での地域の漬け物文化をもっと広めたいですね。

